

## 野津田公園バラ広場の移設延期等に関する請願

### 請願趣旨

現在進められている野津田公園拡張工事について、町田市長は工事期間と経費の変更を提案する旨公表されました。この工事には、今後「バラ広場」の移転とテニスコート建設が計画されています。

COVID19の蔓延、所謂新型コロナ渦で、今後町田市でも様々な対策が必要となります。現在移設が計画されているバラ広場の事業でも、利用者の密集を避けるなどの感染症対策を考慮した空間配置の再検討も必要と考えます。その点で現在のバラ広場は、約8000㎡の敷地にバラ株が点在するゆったりした空間で、癒しと元気をもたらすコロナ禍の中でも充分楽しめるスポットです。移植先の設計を見ると、現在の広場面積の7割程度の限定された空間内に、移植株と新たに購入した約1000株のバラを植栽する等により、今の倍のバラ株が密植され、通路に利用者が立ち止まって観覧または写真撮影するには、互いに密な利用が避けられないと考えられます。今後の感染症の先行きが見えない中、感染を防ぐ庭園へ、科学的根拠をもった設計変更が必要と考えられます。

また「バラ広場」移転とテニスコート建設事業について、市は11月10日持たれた話し合いで市民有志からの質問に対し、この区域にテニスコート12面を建設する旨回答しました。しかし、12面確保の為に、計画地所有の農家から地所売却について文書での了解が必要です。現在養鶏など盛業中の農家は、市内でも貴重な農業継続の意思も高い方で、今後土地売却の了承を得る見通しは立っていません。

そのためテニスコートの面数については、今のバラ広場移転跡地に不十分な形で4面を建設するとされています。しかし、公園内に現有の3面のコートが廃止され、実質増はわずか一面増だけともされています。

斜面地である現バラ園でのテニスコート建設には、大規模な重機の導入が避けられず、不十分な形で造成を急ぐ事は、鶏舎や畑の周囲を工事現場で囲む事となり、環境悪化による農業への悪影響は否めません。地産地消を担い、有機農業を先進的に取り組んできている農家の土地を奪うのは、市としての農業振興の責務とも矛盾します。

さらに、バラ移植の時期についても再考が必要と考えます。バラの管理を行ってきた町田バラ会の方に伺うと、2月以降はバラが活動を開始する為に、移植では枯死する危険もあるとされています。工期が不安定な現状で無理に移植を強行すれば、バラ株に深刻なダメージを与えることになりかねません。バラも命を持っています。ボランティアの方々の労苦に報いるためにも最適な時期に、移植を延期して待つ必要があると考えます。

こうした状況で不要不急の工事を避け、農家、スポーツ関係者、公園利用者が納得できる解決方法を見出す事が望まれますが、市では感染症対策を理由に市民に向けての説明会を拒んでいます。十分な説明の無いまま、雑木林などの伐採、掘削や北口から長く続くコンクリート擁壁設置を伴う大規模な工事が始まった事は、公園の利用者や市民に驚きと不安を与えています。市と市民との協働を実現するには、適切な密度と通気等の感染症対

策を施した場を準備し、説明会を実施する事による丁寧な説明と対話が必要です。これを省いて市民同意のないまま事業を推し進めるのは、今後大きな禍根を残すことになりかねません。

議会からこれら関係者に対し、適切な仲介と、無駄のない市税の使途についての役割発揮を要望し、併せて市に対し、見通し薄弱な計画を再検討する事を求めてください。

**請願項目：**

1. バラ広場のバラ株を新しい場所に移植するのは、移植先の感染症対策が完成し、かつ移植に最適な季節となるまで1年間延期して下さい。
2. 現在のバラ広場でのテニスコート造成は、地権者農家との誠実な話し合いの結論が出るまで延期して下さい。
3. バラ広場の移転事業について、市民に向けての説明会を開いて十分な説明をして下さい。

以上、請願致します。